

第 28 回 バイオメカニズム・シンポジウム in 加賀 プログラム ver.4

講演時間：25 分（口頭発表 17 分，質疑応答 8 分）

但し残り 2 分の時点で次講演者の講演準備を始めます。

発表機器：液晶プロジェクターを準備します。パソコン，特殊な接続ケーブル等をご持参下さい。

講演者：○印は講演発表予定者。◎印はバイオメカニズム学会奨励賞の審査対象者。

受付：ホテルアローレ宴会場ホワイエ

会場：ホテルアローレ宴会場 瑞松

◆大会公式サイト <https://sobim-conf.com/s2024/>

9 月 10 日（火）

12:00 - 13:00	受付
13:00 - 13:05	開会挨拶
セッション 1： 整形外科疾患 座長：津田 英一，多田 薫	
13:05 - 13:30	<p>前十字靭帯再建術の移植腱におけるコラーゲンタイプ組成の検討 ○水野 雄伸 1)2) 高田 泰史 1) 吉岡 和晃 3) 久保田 雅史 4) 浅井 仁 4) 出村 諭 1) 中瀬 順介 1)</p> <p>1) 金沢大学大学院整形外科 2) 金沢大学附属病院リハビリテーション部 3) 金沢大学医薬保健研究域医学系 4) 金沢大学医薬保健研究域保健学系</p>
13:30 - 13:55	<p>内側開大高位脛骨骨切り術後の歩行時 lateral thrust は術後 5 年の関節内・ 関節外変形に影響する ○東 利紀 1) 渡邊 陽祐 2) 高橋 祐樹 3) 黒田 一成 3) 久保田 雅史 4) 1) 訪問看護ステーション リハケア芦城 2) やわたメディカルセンター リハ ビリテーション技師部 3) やわたメディカルセンター 整形外科 4) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系</p>
13:55 - 14:20	<p>足部底屈筋活動が ACL にもたらす負の影響の可能性 ◎サマラクーン ムディヤンセラゲ チャミニ セワンディ サマラクーン 1) レヴァン ティエット 1) 菊元 孝則 2) 高林 知也 2) 久保 雅義 2) 1) 新潟医療福祉大学大学院 理学療法学分野 2) 新潟医療福祉大学運動機能 医科学研究所</p>
14:20 - 14:45	<p>メカニカルストレスに対する関節軟骨の反応とその理学療法への応用 ○高橋 郁文 1) 久保田 雅史 2) 1) 金沢大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学 医薬保健研究域保 健学系</p>
14:45 - 15:05	休憩・企業展示の見学

セッション2： 動作解析 座長 昆 恵介, 金子 文成		
15:05 - 15:30	5	Movement patterns during sit-to-stand and stand-to-sit movements in individuals with low back pain experience ◎ソウ ブン 1) 関口 雄介 2) 本田 啓太 3) 海老原 覚 1) 1) 東北大学 臨床障害学分野 2) 東北大学病院 3) 熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科
15:30 - 15:55	6	慢性足関節不安定症を有する者の傾斜台への着地動作における足部内運動の解明 ◎アンソニー ライゴ 1) 菊元 孝則 2) 高林 知也 2) 渡邊 貴博 3) 菊池 雄大 4) 久保雅義 2) 1) 新潟医療福祉大学大学院 理学療法学分野 2) 新潟医療福祉大学 3) 森ノ宮医療大学 4) 丸太町リハビリテーションクリニック
15:55 - 16:20	7	三次元動作解析装置を用いた両手と片手動作における更衣活動での上肢の各関節可動域範囲の比較 ○山岸 永典 1) 久保田 雅史 2) 西村 誠次 2) 1) 福井大学附属病院 リハビリテーション部 2) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系
16:20 - 16:45	8	手関節の姿勢がクライミングの保持方式に及ぼす影響 ◎小西 桂 1) 仰木 裕嗣 1) 1) 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
16:45 - 16:55	休憩	
セッション3： 義肢・装具 座長：中川 昭夫, 久保 雅義		
16:55 - 17:20	9	義足膝継手の動力学モデル作成手法の開発 ○大森 巴奈 1) 鈴木 勇汰 1) 内藤 尚 2) 西川 裕一 2) 1) 金沢大学大学院自然科学研究科 2) 金沢大学理工学研究域
17:20 - 17:45	10	個人の膝関節軸に合わせたポリセントリック膝サポート機構のデザイン ○菊池 武士 1) 大森 寛太 2) 井口 翔太郎 2) 中川 まどか 1) 阿部 功 1) 1) 大分大学理工学部 2) 大分大学大学院工学研究科
17:45 - 18:10	11	椅子からの立ち上がりを補助する大腿義足用機械式膝継手の開発と評価 ○迫田 修治 1) 三谷 拓也 2) 村林 真衣 2) 井上 恒 3) 4) 1) 香川大学大学院 創発科学研究科 2) 香川大学大学院 工学研究科 3) 香川大学 創造工学部 4) 産業技術総合研究所
18:10 - 19:30	夕食・休憩	
19:30 - 21:00	夜話「手の機能とバイオメカニズム」 西村 誠次 金沢大学教授	

9月11日(水)

セッション4： 上肢 座長：津村 弘, 橋本 泰成		
8:45 - 9:10	12	k-means法を用いたBox and Block Test中の上肢姿勢評価 ◎榊原 時生 1) 2) 仰木 裕嗣 3) 1) 湘南慶育病院 リハビリテーション部 2) 慶應義塾大学 SFC 研究所 3) 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
9:10 - 9:35	13	定量的運動機能評価システムの開発と臨床応用, 実用化に向けた取り組み ○李 鍾昊 1) 池田 拓史 2) 上地 本高 2) 池永 康規 2) 橋本 泰成 1) 1) 公立小松大学 保健医療学部臨床工学科 2) やわたメディカルセンター
9:35 - 10:00	14	神経筋電気刺激による麻痺手アシストのための皮膚変位を用いた動作推定手法 ◎渋川 恭佑 1) 加藤 龍 2) 1) 横浜国立大学 大学院理工学府, 2) 横浜国立大学 大学院工学研究院
10:00 - 10:25	15	【演題取り下げ】 会場内討論 ・ 企業展示の見学
10:25 - 10:35		休憩・企業展示の見学
セッション5： 下肢 座長：羽場 俊広, 板谷 厚		
10:35 - 11:00	16	陸上競技場の曲走路疾走における求心力積の左右比率 ○広野 泰子 1) 平山 大作 1) 藤井 範久 1) 1) 筑波大学体育系
11:00 - 11:25	17	ディフェンダーからのプレッシャーがバスケットボールのジャンプシュートにおける予測的姿勢調節に与える影響 ◎今野 聖大 1) 板谷 厚 2) 木塚 朝博 3) 小野 誠司 3) 1) 筑波大学人間総合科学研究科 2) 北海道教育大学 3) 筑波大学体育系
11:25 - 11:50	18	痙直型脳性麻痺者における安定性限界狭小化の特徴と理学療法アプローチのための考察 ○冨田 秀仁 1) 川口 大輔 2) 高橋 秀平 2) 山本 佳司 2) 浅井 仁 3) 1) 豊橋創造大学 2) 愛知県三河青い鳥医療療育センター 3) 金沢大学 医薬保健研究域保健学系
11:50 - 12:15	19	視覚外乱による姿勢動揺の経験は姿勢制御における感覚の重みづけを変化させる ○矢田 拓也 1) 倉持 洸太 2) 棚町 兼也 1) 桑原 渉 1) 金子 文成 1) 1) 東京都立大学大学院 理学療法科学域 2) 東京都立大学 健康福祉学部理学療法学科

12:15 - 13:15	昼食・休憩	
セッション6： 歩行 座長：江原 義弘, 岡田 英孝		
13:15 - 13:40	20	3つのIMUセンサーで全身の歩行姿勢角度を推定するAIモデルの開発 ○後藤 巴哉 1) Klinkigt Martin 1) 岸 雅之 1) 金原 秀行 1) 1) 京セラ株式会社 フューチャーデザインラボ
13:40 - 14:05	21	IMU内蔵シューズによる勤労者の日中の歩行指標変化と影響因子の考察 ○山縣 俊亮 1) 草野 拳 1) 市川 将 1) 1) 株式会社アシックス スポーツ工学研究所
14:05 - 14:30	22	歩行立脚中の骨盤傾斜に対する中殿筋と大内転筋の関与特性 ○金 承革 1) 渡邊 健人 2) 1) 常葉大学 健康科学部 2) 藤田医科大学病院 リハビリテーション部
14:30 - 14:55	23	日本人における歩行周期の割合に関する調査研究 ～ランチョ・ロス・アミーゴ方式の相区分変化～ ○昆 恵介 1) 春名 弘一 1) 小林 吉之 2) 江原 義弘 3) 山本 澄子 4) 1) 北海道科学大学保健医療学部 2) 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 3) 新潟医療福祉大学 4) 国際医療福祉大学大学院医 療福祉学研究所
14:55 - 15:15	休憩・企業展示の見学	
セッション7： スポーツ 座長：山田 洋, 井上 恒		
15:15 - 15:40	24	棒高跳における各手作用力計測用センサーの精度向上 ○植松 倫理 1) 廣瀬 圭 2) 武田 理 3) 4) 小池 関也 5) 1) 筑波大学大学院人間総合科学研究科 2) 公立小松大学生産システム科学 部 3) クロステックスポーツ株式会社 4) 筑波大学大学院人間総合科学学 術院 5) 筑波大学体育系
15:40 - 16:05	25	簡易計測に対応した生体内力の評価とその方法 ◎高濱 拓 1) 吉村 茉利恵 2) 万野 真伸 3) 小出 卓哉 4) 藤川 智彦 1) 1) 大阪電気通信大学大学院 2) 昭和大学 藤が丘病院 3) 立命館大学 4) 大阪電気通信大学
16:05 - 16:30	26	高水準の剣道熟練者が応じ技において尚早反応を起こさない要因 ◎松崎 賢士郎 1) 鍋山 隆弘 2) 有田 祐二 2) 小野 誠司 2) 木塚 朝博 2) 1) 筑波大学大学院人間総合科学学術院 2) 筑波大学体育系
16:30 - 16:55	27	カフェイン摂取が運動観察による予測判断に及ぼす影響 ○板谷 厚 1) 土橋 康平 1) 1) 北海道教育大学教育学部
16:55 - 17:05	休憩	

セッション8： 新技術 座長：坂井 伸朗, 浅井 仁

17:05 - 17:30	28	階層型音声出力コミュニケーションエイド (VOCA) の構造解析と改良 ○林 豊彦 1) 鈴木 優里 2) 渡部 峻 2) 林 智彦 3) 中村 有花 3) 1) 新潟大学教育研究院 2) 新潟大学大学院 3) 新潟大学工学部
17:30 - 17:55	29	網膜速度誤差を用いた物体速度知覚の予測 ◎宮本 健史 1) 沼澤 孝輔 2) 小野 誠司 2) 1) 名古屋大学大学院情報学研究科 2) 筑波大学体育系
17:55 - 18:20	30	リハビリテーション専門職が主導する橋渡し研究の一例 - 他動誘導型自己運動錯覚システムの医療機器承認に向けた取り組み- ○棚町 兼也 1) 2) 桑原 渉 1) 2) 岡和田 愛実 1) 2) 川上 途行 2) 金子 文成 1) 2) 1) 東京都立大学大学院 理学療法科学域 2) 慶應義塾大学 リハビリテーション医学教室
18:20 - 19:00		休憩
19:00 -		夕食・懇親会

9月12日(木)

セッション9： 高齢者1 座長：金 承革, 金居 督之		
8:45 - 9:10	31	脳卒中片麻痺者の歩行改善に対する新たな評価指標 Gait Degree Index (GDI)を用いた歩行分析手法の開発と応用 ◎森 嘉裕 1) 2) 昆 恵介 3) 松井 千春 1) 安彦 かがり 1) 春名 弘一 3) 1) 札幌麻生脳神経外科病院 2) 北海道科学大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻 3) 北海道科学大学保健医療学部理学療法学科
9:10 - 9:35	32	高齢者における複数選択肢下での立位ステップ動作前の姿勢方略 ○日吉 尚輝 1) 渡邊 諒 2) 3) 樋口 貴広 1) 1) 東京都立大学人間健康科学研究科 2) 鹿屋体育大学スポーツ人文応用科学系 3) 日本学術振興会特別研究員
-	33	【演題取り下げ】
9:35 - 10:00	34	パーキンソン病患者における運動神経活動の性差 ○西川 裕一 1) 久保田 雅史 2) 1) 金沢大学理工研究域フロンティア工学系 2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系
10:00 - 10:25	休憩・企業展示の見学	
セッション10： 高齢者2 座長：内藤 尚, 中馬 孝容		
10:25 - 10:50	35	日常生活中に行う安全な動作による転倒リスク評価方法の開発－座位での足踏みリズムのばらつきに着目して－ ◎和田 直樹 1) 土田 和可子 2) 極木 直子 3) 峰 悠子 4) 小林 吉之 1) 1)産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 2)産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 3) SOMPO ケア株式会社 4) 産業医科大学 衛生学講座
10:50 - 11:15	36	Center-of-Pressure Virtual Tunnel for Evaluation of Normal Walking With Lower-limb Perception Assist ◎陳 俊彤 1) 西川 鋭 1) 木口 量夫 1) 1) 九州大学
11:15 - 11:40	37	身体活動の運動強度を考慮した座位足踏みによる電子楽器演奏システムの開発 ○赤澤 堅造 1) 前田 義信 2) 一ノ瀬 智子 3) 西ノ平 志子 4) 奥野 竜平 5) 1) 大阪大学名誉教授 2) 新潟大学工学部 3) 武庫川女子大学音楽学部 4) 佐賀大学理工学部 5) 摂南大学理工学部
11:40 - 11:45	閉会挨拶	